

# 相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和3年4月～6月)

**製造業を中心とし、全般的には景況が回復基調にある。一部の輸入材料・部品で、品不足のため仕入の高騰が発生している。**

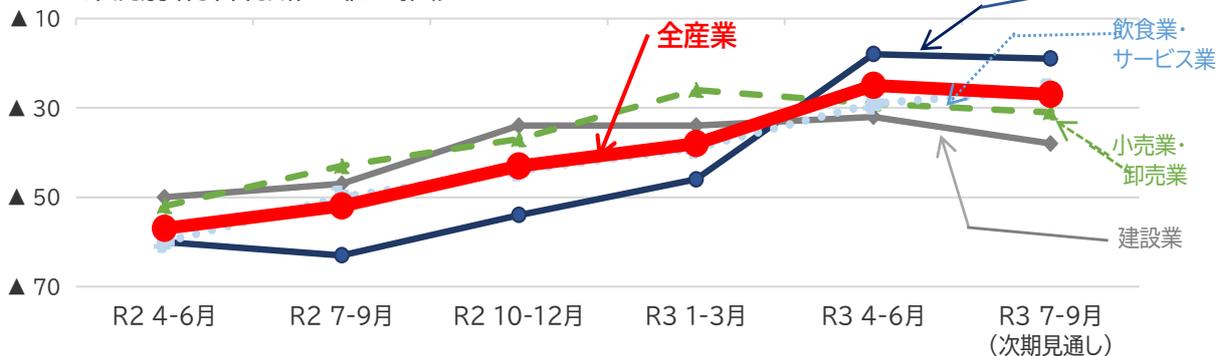
## ポイント

- ▶ 令和3年4月～6月期の総合業況DIは▲25と、前期▲38から13ポイントの大幅な改善。特に製造業(前期▲46、今期▲18)において急速な業況の改善が見られた。飲食業・サービス業(前期▲39・今期▲25)も改善。先に改善が進んでいた小売業・卸売業(前期▲26・今期▲29)と、建設業(前期▲34・今期▲32)は、今期は小幅の改善にとどまる。
- ▶ コメントによると、景況は底を打ったという意見や客足や受注が戻ってきていると回答する事業者が増えてきている。その一方で、感染症長期化により一層状況が悪化している事業者もあり、酒類を扱う卸・小売や飲食店では死活問題になっているとの声も上がる。また、半導体や金属、木材を中心に、材料・部品不足が発生しており、一部業種で仕入が高騰している。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲27と、今期▲25から2ポイント悪化の見込み。飲食業・サービス業(今期▲25・次期▲26)と製造業(今期▲18・次期▲19)、小売業・卸売業(今期▲29、次期▲31)は、ほぼ今期並みとなる見通しである。建設業(今期▲32・次期▲38)はやや悪化するとみられる。

## 各業界から寄せられたコメント

- ・【機械部品製造及び金型の設計製作】現時点での景気感は良好。悪化時の反動が心配。
- ・【戸建て住宅、木造建築】ウッドショックにより、工期遅延や木材仕入単価が高騰。
- ・【酒類、米、タバコの販売】酒類の販売先の休業での売上の低下、R3、4月からは低迷している。みんなに疲れがピークに達している。
- ・【スポーツクラブ運営】昨年同時期に3ヶ月休業した時の借入金の返済が始まる。現状の売上げで、維持プラス返済の体力がない。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R2.4-6)	前々期概況 (R2.10-12)	前期概況 (R3.1-3)	今期概況 (R3.4-6)	次期見通し (R3.7-9)
製造業	▲ 60	▲ 54	▲ 46	▲ 18	▲ 19
建設業	▲ 50	▲ 34	▲ 34	▲ 32	▲ 38
小売業・卸売業	▲ 52	▲ 37	▲ 26	▲ 29	▲ 31
飲食業・サービス業	▲ 60	▲ 44	▲ 39	▲ 25	▲ 26
全業種(総合)	▲ 57	▲ 43	▲ 38	▲ 25	▲ 27

DI値 60以上	DI値 50~59	DI値 40~49	DI値 30~39	DI値 20以下

調査期間:令和3年4月1日～6月30日

回答率:27.9%

回答者数:1,027件

調査対象:当所会員事業所3,682社

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。

「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる